

令和元年度寄附金活用実績報告書

事業名	難病の災害支援及び普及啓発活動事業
寄附受入額	2,000,000 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	<p>1. 普及啓発事業</p> <p>■期間：2019年10月～2020年3月</p> <p>■場所・会場：佐賀県庁 1階ホール 佐賀県庁 地下1階</p> <p>■主催者・参加者：主催：佐賀県難病支援ネットワーク 参加者難病や障害をお持ちの方や一般県民</p> <p>■事業の要旨：後縦靭帯骨化症で世界ストリートダンスチャンピオンである ISOPP さん、シャルコマリートウースの療法士である山田隆司氏を講師に迎え、世界希少難治性疾患の日 (RDD) をワークショップ形式で実施する</p> <p>1. 災害支援事業 (事業の名称)</p> <p>期間 2020年2月17日 (月) ～</p> <p>場所 佐賀大学本学にて贈呈式</p> <p>主催 佐賀大学、認定 NPO 法人佐賀県難病支援ネットワーク</p> <p>事業の要旨 難病や障害の方々に関するアプリの開発への研究費助成</p>
事業実施の成果・効果 (見込み)	<p>※難病に関して普及啓発が進まない中、難病があっても前向きに生きておられる患者を招待して、世界希少難治性疾患の日を開催し、ワークショップ形式で難病があっても普通に生活できることを多くの方に啓発を行う。(世界で同時に開催する) また県庁1階では、難病のパネルを5日間展示して、来庁された方に御覧いただくことで難病の普及啓発を図る。</p> <p>また、要配慮者で登録をしていない多くの難病や障害のある方が個人情報への壁を越えて登録することにより、佐賀大学医学部や佐賀県内の医療機関で共有できる難病患者アプリの開発への研究費の助成を行うことにより、多くの方に登録していただき、緊急時災害時に活用できることにより、患者の命を救うことができる効果がある。</p>

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		難病の災害支援及び普及啓発活動事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	2,000,000	
		収入 計	2,000,000
支 出	寄附金	1,000,000	佐賀大学医学部 災害時難病支援アプリ開発助成金
	旅費		
	印刷製本費	8,385	RDD 啓発用ポスター利用料
	通信運搬費	3,020	お礼状送料
	消耗品費	10,059	お礼状用紙他
	雑費	1,150	振込手数料
	返礼品	933,549	
			40,000 円は次年度に繰り越し
		支出 計	1,956,163

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。  
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。